

転んでからでは遅い

～転倒・転落を予防するために～

入院中は、環境の変化や体調の変化により予想以上に転びやすい状況になります。私たちの病院では、生活環境を整備しながら転倒・転落の予防に十分に注意をして、安全で快適な入院生活を送っていただくようにしておりますが、さらに安全を高めるためには、患者さま・ご家族の方のご協力が欠かせません。

是非、以下の点にご注意いただき、安全な入院生活を送られますようお願いいたします。

睡眠剤を飲んでいませんか。

睡眠剤を飲んでいると、夜間や早朝に目が覚めたときにふらふらしたり、めまいがしたりする危険があるので注意してください。

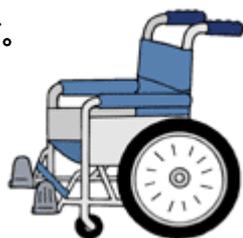


トイレ・ポータブルトイレを使用するときには。

排尿、排泄時に転倒、転落が多くみられます。特に夜間、早朝は危険です。無理をせず遠慮なく看護師にお知らせください。

車椅子の乗り降りは大丈夫ですか。

車椅子に乗り降りする時には、必ずブレーキをかけましょう。足を乗せるところに立つと危険です。



ベッド上での生活は慣れていませんか。

ベッド上で立ったり、身を乗り出して物を取ろうとすると危険です。

ナースコールの位置を確認してください。

ベッド柵を外したままにすると危険です。できるだけベッド柵は外さないでください。



手すりや杖を利用しましょう。

廊下や階段は手すりを持って移動しましょう。ふらつくときは看護師が介助します。



スリッパやサンダルはやめましょう。

履きなれた靴や脱げにくい靴を使用してください。



意識障害、認知症、体動不穏などで、明らかに事故の危険性を伴う場合、ご家族の方にご協力頂くことがあります。その場合は主治医または看護師からお話いたしますので、ご了承ください。

ご心配なことがありましたら、遠慮なく主治医または看護師に相談してください。